

令和7年度 授業改善推進プラン（1年）

台東区立金曾木小学校

教科	観点 課題と思われる観点に○		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な 方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言語	・カタカナ・新出漢字を書くことが苦手である。	・朝学習の時間でプリント学習を繰り返し行い、週1回以上、漢字小テストを行っていく。	・漢字小テストで、正答率 90%を 9 割の児童が達成する。また、漢字 50 問ワークテストで、正答率 90%を 8 割の児童が達成する。
		言葉			
	思考力・判断力・表現力等	話・聞	・拗音、促音、長音や「は」「を」「へ」といった助詞を正しく使用し、自分の考えを 1 文以上の文に具体的に書くことが難しく、支援が必要である。	・授業の中で振り返りカードを書く機会を増やしていく。また、繰り返しプリントによる復習や確認テストを行っていく。	・ワークテストで「読む」で、正答率 90%以上を 8 割以上の児童が達成している。
		書く			
	学びに向かう力、人間性等	読む			
算数	知識及び技能	数・計	・たし算、ひき算の計算はできるが、文章から立式することが難しい。	・家庭学習を行うと同時に授業の中でも、繰り返しプリントによる復習や確認テストを行っていく。	・ワークテスト「知識・技能」で、正答率 90%を 8 割の児童が達成している。
		図形			
		測定			
		デ活			
	知識及び技能 思考力・判断力・表現力等	数・計	・時計が示す時刻では、正時は正しく読むことができるが、○時○分の時刻を読むことが難しい。	・学校生活や授業の中で時計を読む時間を意図的に設ける。時計盤の目盛りに着目し、時刻の読み方や表し方を考える場面を増やしていく。小テストを行い、確認していく。	・ワークテストで「思考・判断・表現」の正答率 85%を 8 割の児童が達成している。
		図形			
		測定			
		デ活			
	学びに向かう力、人間性等				